

雪のランタンづくり

国立花山青少年自然の家

1 活動の概要及びねらい

雪・氷で灯籠やランタンをつくります。雪・氷の冷たさ、重さ、性質について制作活動を通して知り、出来上がった作品で美しい夜のひとときを仲間と過ごします。また、友達と共に制作活動することで、友達と触れ合うことの楽しさを味わいます。

2 時期・時間

12月～2月積雪時・1～2時間程度

3 活動場所

見晴らし広場、すりばち広場、冒険広場、星空広場等

4 準備

自然の家で貸し出しできる物	利用者で準備する物
ボール、バケツ、洗面器、コップ、シャベル、チャッカマン等	活動に適した服装、帽子、手袋、耐風ロウソク

5 実施例

- ① 健康状態を確認し、服装を点検します。
- ② 準備物の確認をします。
- ③ ランタンを作る場所を決め、ろうそくを立てるための穴を深さ1～2cm程掘ります。
- ④ 雪玉を作ります。ランタンの大きさにもよりますが、30個程作ります。
- ⑤ ろうそくの穴を中心に、周囲に雪玉を積み上げていきます。雪玉の壁を作る要領で、ろうそくが隠れる程度まで組み上げます。
- ⑥ 雪玉の壁ができたら、中心にろうそくを立て、暗くなったらろうそくに点火します。
- ⑦ 人数確認、健康調査をします。
- ⑧ 後片付け



※用具は必ず元の場所に返してください。

※必ず引率者が立ち会ってください。（破損等があれば事務室にご連絡ください。）

6 留意点

- ・ 風で消えないように、隙間を開けすぎないようにしてください。また、雪玉の壁の高さは、ろうそくを完全に覆うように作ります。
- ・ さらさら雪で、雪玉が固まりづらい時は、少し水を含ませて、シャーベット状にすると、固まりやすいです。

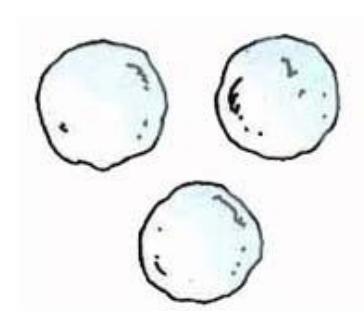
[参考資料]

【スノーランタンの作り方】

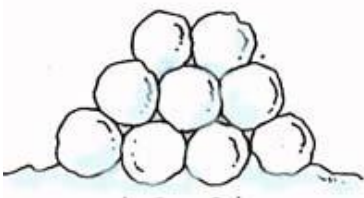
- ① スノーランタンを作る場所がきまったら、ろうそくを立てるための穴の深さを、1～2 cmくらい掘る。
(地面に直接作ったり台の上に作ることも可能)



- ② 雪玉を作る。雪玉の数はスノーランタンの大きさにもよるが、最低でも30個は作る。
雪質にもよるが、さらさらで固まりづらい場合は、水を少し含ませて、シャーベット状にすると、固まりやすい。



- ③ ろうそくを立てる場所を中心にして、周囲に雪玉を積み重ねていく。雪玉で壁を作る要領で積むと良い。
風の強い場合も想定して、ろうそくが隠れる程度の高さ以上にしたり、雪玉の隙間を少なくすると良い。



- ④ 雪玉の壁が出来上がったら、中心にろうそくを立てる。
これで、スノーキャンドルは出来上がり。
あたりが暗くなったら、ろうそくに点火。

